

你好 32号

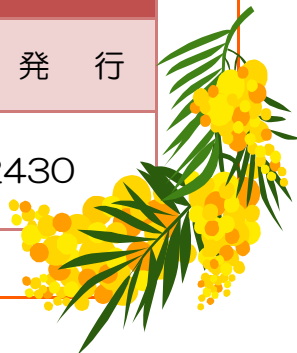


35周年を迎えた
中国語を学ぶ会
神奈川県平塚市

中国語を学ぶ会

平成22年8月 第32号発行

連絡先 渡邊 090-8588-2430



『中国語を学ぶ会』新学期を迎えて

会長 渡邊 敏行

21年度は広報活動に重点を置き、タウン誌“いどはた会議”の取材を受け、“広報ひらつか”には見学会の告知をお願いし、会ホームページにも”Topic“で情報を発信して、露出度アップに努めました。

おかげさまで新規加入者が15名となり、残念ながら退会された方もありましたが、在籍35名の世帯が出来上がりました。

月曜クラスと火曜クラスを統合し、月曜日に入門クラスを新設出来ました。

また、3月には待望の研修旅行も実施でき、楽しく有意義な体験が出来ました。

今年度も引き続き勉学に励み、中国人との会話に支障のないよう一層身を引き締めて努力致したいと考えます。



会員皆様全員のご協力を頂き、会運営をさせていただきます。どうぞ宜しくお願い致します。

ホームページアドレス：

<http://www.manabukai.sakura.ne.jp/> 请大家上网查询

新しい役員は次の通りです。

会 役 職	氏 名	ク ラ ス
会 長	渡 邊 敏 行	水 曜
副 会 長	小 野 寺 登	火 曜
副 会 長	大 類 悦 子	木 曜
会 計	福 永 静 雄	木 曜
会 計 監 査	佐 藤 真 智 子	木 曜
にいはお編集委員	中山・福永・中島	
ホームページ担当	渡 邊 敏 行	
ク ラ ス 役 職	氏 名	ク ラ ス
月 曜 役 員	久 保 田 利 昌	月 曜
月 曜 役 員	猪 野 早 智 子	月 曜
火 曜 役 員	小 林 由 紀 江	火 曜
火 曜 役 員	浅 倉 恵 子	火 曜
水 曜 役 員	蜂 屋 和 男	水 曜
木 曜 役 員	福 永 静 雄	木 曜
木 曜 役 員	三 橋 直 行	木 曜

参加者からの投稿をご披露いたします。

研修旅行記

旅行の思い出

佐藤 真知子

平成 22 年 3 月 25 日から 3 月 30 日までのこの旅行は、私達の中国語の同士のおつきあいが、より深まった楽しい旅行でした。

天候にも恵まれて皆和気あいあいと旅行を楽しめた事、良い思い出となりました。

特に九曲溪のいかだ下り、最高でした。私は九州熊本的生活が長くて、球磨川下りをした経験があります。球磨川下りも勇壮、且つスリル満点でしたが、今回も充分素晴らしい眺めとスケールの大きさはやはり中国！十分満喫、直前に買わされた、か弱いビニール袋が大いに役立って、靴を濡らさないで済みました。またお客も多かったですね。中国の人達もきっと長い間計画して来られたんでしょ。いやはや絶景かな！でした。



ホテルの朝食もすごかったですね。あっという間に無くなってしまいうので食べ物を確保するまでエネルギーを必要とし、2 日目からは馴れましたけど、すごか

ったですね。

豆乳、美味しかったしおなか一杯頂きました。油条おいしかったですね。そこに行ったらやはりその食べ物がよいのですね。夕飯のビールはアルコール分が少なく、軽くて美味しかった。日本では味わえない珍味もたくさん頂けて幸せでした。

女子大生との交流、自分のアピールがすごく、何か現代の中国では自分をいかにアピールして人に認められるか、チャンスは自分で勝ち取れ、売り込めと言う感じで競争社会のすさまじさの片鱗を見た観がありました。

今まで中国と言うと北京、上海、大連、青島と比較的近場でしたが、今回は自然の雄大さと中国の広さに充分堪能し、珍味を味わえ、それにこの位の短期間の旅が良いですね。とはいっても私にとっては一番長い中国の旅でした。

会長様はじめ皆様ほんとうにお世話様になりました。

アモイ・泉州・武夷山、永定旅行

星期 4 班 鳥澤 光代

何度となく中国旅行には出かけたが、当会の同学と一緒にの旅行は家人や友達と行くのとは一味違った面白さがある。

それ故、普段の会活動は不勉強で出席率もよくなくせに旅行だけは皆勤である（多分）。

北京 2 回、台湾と今回を入れて 4 回目の参加である。

今回も期待を裏切らない、楽しくよい旅行が出来た。

会長のお骨折りで、諸々のお膳立て、チケットの手配、旅行社との連絡調整、旅行先で



の食事やお酒の手配まで手抜きなくしていただき、私たちは安心してそのルールに乗って旅行を楽しめた。また李老師も同行してくださったので、言葉の不安や旅先でのトラブルも心配なかった。現に武夷機場で老師の気転で救われた人がいたっけ。

私はホテルの朝食の油条争奪戦でお世話になった。

1日目のアモイ経由武夷山への移動中、睡眠不足がたたり体調を崩し、ホテルへ着くなりベットになだれ込んだ。眠れば治ると信じひたすら眠った。

老師とガイドさんが暖かいスープを持ってきてくださったが、申し訳ないがその臭いでまた胃がキューンと痛くなり、吐き気が起こった。こんなはずじゃないと弱い自分に情けなくなるのと同時に、もう外国旅行は無理なのかと不安が頭を横切った。2日目の朝回復、やはり眠れば治った。

それにしてもこのホテルの周囲は春と夏の花が同時に咲いている。藤、つつじ、バラ、かまつか、桐等、それに見慣れた春の花も咲いていた。春と夏の区別があまりないと思われる、その花々にも癒された。

今回の旅行中いたる所でいろいろな花を眼にした。見慣れた花に混じっていかにも南国という色や大振りの花が見られた。どこに行っても花に気が惹かれる私はとてもうれしかった。

それに中国旅行で好きなのが塔の観賞。仏塔のようなもの、それも古ければ古いほどいい。例えば西安の大雁塔と小雁塔、上部が朽ちて雑草などが生えている小雁塔が好きだ。上海では孫権が建てたという龍華寺の塔をよく見に行った。少し斜めになって申しわけなさそうに伽藍の外の道路わきにたたずんでいる姿が好きだった。

泉州の開元寺の東西両塔は石作りの堂々とした立派な塔であった。開眼



寺、永楽禅寺、南普陀寺もすばらしかった。

南普陀寺の精進料理はおいしかった。境内で売っていたあのお饅頭も評判がよかった。

旅行中は美味しい、めずらしい、高級な料理を食べさせていただいた。最終日の晩御飯はアモイ駅の近くの食堂で庶民的な食事をした。

バナナ畑の続く中で食べた小さなバナナの味も忘れがたい。女子大生との交流、竹筏での川くだり、土楼見学、コロンス島遊覧、金門島クルーズ、アヘン戦争の舞台となった砲台見学等々多彩な内容の旅行ができた。

実習としての中国語はどうだっただろう・・・

日本語とも中国語とも判断しにくい言葉も聞こえたようだったが、日本語が多かったのでは・・・。

「あなたたちマレーシア人？」と食堂の人言われたけれど、中国語が話せたから？話せなかったから？

アモイ・武夷山・福建土楼の旅

星期二班 薄井則久

3月25～30日まで「中国語を学ぶ会」の仲間男性6名、女性6名の12名で中国福建省を旅行してきた。

今回の旅行は、当会の会長である渡邊さんからの提案で現地の旅行会社(AraChina)にこちら側から要望を出してコースを組んでもらった旅行なので、ツアー旅行では体験できない楽しい旅が出来た。更に今回の旅行の4日目には、中国の大学生との交流会が組み込まれた。中国語を習い始めてまだ1年目の私には会話は無理でしょうが、”中国語を聞く、話す”を実践する良い機会で大変楽しみである。

旅行1日目 定刻9:45に成田を発ったNH935便は、13:40アモイ空港に到着。

アモイ空港では現地ガイドの鐘雲さんとスルーガイドの沈慧香さん

の出迎えを受けた。知ったかぶりで早速沈さんを「小沈(XiaoShen)」と呼ぶことにした。

(後で李老師から小(Xiao)を付けて呼ぶのは「親しい間柄での呼び方」と聞かされ、初対面の私を随分と慣れなれしい人と思ったことでしょう(反省)。でも彼女は身長が小さかったので「小沈」でOKかな？

アモイ空港から国内線で武夷山空港へ約1時間の空の旅。飛行機を降りて空港ビルまで飛行場を横断していると、プロペラ機が駐機中。カメラを向け、撮りはじめたら兵士が飛んで来て「今撮った写真を消せ！」と言っている。

私は一瞬カメラを没収されるかなと身構えたが、カメラをケースに納めたので難を逃れた。同行のN氏は撮った写真は消さずに、デジカメの「音を消す」表示のボタンを押して見せたら、兵士は了解したらしい。

なんだかいろんなことが起きそうな旅の始まりでした。

武夷山での夕食は、店頭で生きた食材(うさぎ・鶏・蛙など)や蜂の巣、筍を初めとして様々な山菜が並んでいる食堂を数軒のぞきながら店探しをした。

武夷山の数々の山菜料理と度数の高い武夷白酒で、これから始まる楽しい旅にまずは”乾杯！”

旅行2日目 奇岩・奇峰の幻想的な風景の武夷山観光。

午前中は「大紅袍景区」へ。絶壁を縫って小川沿いの山路を上って

くと岩肌に「大紅袍」と紅い文字が彫られて、その隣に数本の茶樹。これが名高い武夷岩茶の原木「大紅袍」である。



この茶樹から採れる茶は1g15万円という破格の値段がつく幻の銘茶である。

午後の観光は武夷山風景区の「九曲溪下り」である。その前に腹ごしらえて店頭でテーブルを並べた麵屋に席を取る。焼きそば、ビール、昨夜のみ残した武夷白酒を飲んですっかり満足。

「九曲溪下り」は孟宗竹8本で作った竹筏(いかだ)に前後二人の船頭と客が6人乗って、九曲から一曲までの約9kmを2時間かけての川下りである。

ゆるやかに、又は激しく流れる川、両岸の奇岩や山影に見え隠れする古い建築を見ながら、9ヶ所の美しい彎曲と絶景を見ながらの筏下りである。曲がりの場所や奇岩には朱色の大きな文字が刻まれている。六曲正面には「天遊峰」という途方もなく大きな一枚岩の絶壁があり、山頂へと続く石段を小さな人の群れが登って行くのが見え、一幅の山水画の世界にまぎれ込んだような風景である。

九曲溪下りを楽しんだ後は、船付き場近くの「宋街」を散策し夕食まで時間があるのでショッピング組とマッサージ組に分かれた。

私は歩き疲れたのでマッサージ組に同行。「大紅袍景区」の山道歩きや山腹にある「天心永樂禪寺」を観光した疲れを揉み解してもらった。ここでお笑いをひとつ。隣でマッサージを受けている同行のO氏とマッサージ嬢との会話が聞こえてくる。

O氏「ニーゼースイ？」マッサージ嬢「スーバースイ……」O氏「??」素晴らしい！”あなたは何て素敵な日本語を言えるのですか？”これを聞いていた李老師が大笑い。

マッサージ嬢は「スーバースイ(十八歳)よ」と答えたのを、O氏「素晴らしい」と聞き間違いたようです。

拳句にO氏いわく「あなたの言葉なまっていますね」と言ったのでマッサージ室は大笑いとなった。

夕食は茶葉料理を堪能して、アモイに戻るため武夷山空港に向かう。

現地ガイド王建嬢に御礼を言って武夷発 21:15 に搭乗、眼下に広がる夜景の美しいアモイに 21:55 着。

旅行 3 日目 同行者に晴れ男か晴れ女がいるのでしょうか。今日も晴天の旅行日和です。

今日から 3 日間はここアモイを基点に、泉州・コロンス島・福建土楼と通い観光となるので、ホテルは 4 連泊となり日程も身体も余裕をもった観光が出来るのがうれしい。

今日の観光は泉州市。アモイ島から本土に架かる大きな橋を渡り、高速道路で 2 時間ほどの距離である。

バスの車窓から見えるのは、続々と建てられているマンションの建築現場と工場が建てられるのか整地された広大な土地を見て、世界 2 位にならんとする中国の経済活況を垣間見たようである。

泉州はかつて海のシルクロードとして栄え、海上交易の中心地として繁栄した街である。

訪れたのは「泉州開元寺」。開元寺にはシンボルとなっている石造の 2 つの塔があり、圧倒される造りである。

この双塔は東塔が 48m、西塔が 44m あり石組みだけで（もち米を接着剤に使っている）積み上げ、幾度の地震にも崩壊せず現存している石造建築の傑作として有名である。

開元寺を後にして、「東方のモスク・清浄寺」、泉州海外交通博物館、天后宮へと向かう。



「天后宮」は航海の女神として有名な「媽祖」を祭っている。泉州観光を終えて、今日の夕食は高級

海鮮レストランで取るようになった。

レストランの店内には多くの魚や貝などの生簀があり、それらの食材を選んで料理を注文する。

食材選びは渡邊会長と中島さんに一任し、我らは出来上がってくる料理を待つことにした。

牡蠣、ミル貝、竹貝、海老のから揚げ、海鮮チャーハンなどが次々と出て来て、大満足の夕食となった。

特にフカひれ・干シアワビ・貝柱・干シナマコなど十数種類の高級乾物を使用した「佛踏牆」という福建料理の伝統的な高級スープはとても濃厚な味だった。

「佛踏牆 (fotiaoqiang)」とは、「余りの美味しそうな香りに修業僧ですら、お寺の塀を飛び越えて来る」がスープ名の由来らしいが、日本的高级中華店では「ぶっとびスープ」と呼んでいると後で知った。

旅行 4 日目 今日アモイの沖にある小島、「鼓浪嶼(コロンス島)」観光である。アモイから 1 km にも満たない距離なので渡し船で 15 分程で渡る。

コロンス島は、美しい景観から「海上花園」とも、又、ピアノの普及率が高く有名なピアニストを輩出しているため、「ピアノの島」と呼ばれている。

島内は車の使用が制限されており（島内の車は消防車とパトカーの 2 台だけ）、我らは若い女性ドライバーが運転をするバッテリーカートに乗っての島内観光となった。

カートを降りて、道端の日干し海産物「なまこ」や「貝柱」等の珍味を眺めながら、



コロンス島の観光スポット「日光岩」に登った。「日光岩」は島内で一番高い（93m）岩山で山頂からは島の全景が見渡せる。

李老師は高所恐怖症（？）なのか途中で待機、登りつめた山頂は十数名しか居られないほどの狭さだったが眼下に広がるコロンス島の町並みは、茶色の瓦屋根が青い海に映えて異国情緒タップリの景観だった。

コロンス島観光を終え、昼食は南普陀寺院内の南普陀素菜館で精進料理を楽しむ。



精進料理を食べた後、南普陀寺を観て回る。南普陀寺は唐代に建設された仏教寺院で、1000年以上の歴史を誇る寺である。境内に咲いていた大きな紅い花がい

かにも中国の花らしい。落下した大きな花を老師と同行のTさんIさんに手に取ってもらい記念写真を1枚。とっても素敵なスナップが撮れました。

南普陀寺後向かったのは厦門理工学院。中国語を学ぶ私達に渡邊会長が今回の旅行では”中国語を話す絶好の機会！”ということで、中国の学生との交流会を現地旅行会社に提案し実現した。

私は高鳴る胸を押さえながら教室に入ると、歓迎の拍手・拍手。迎えた学生さんは総勢12名の女子大学生。

（後ほど紹介されたのだが、もう1名女子大生と変わらない若い日本語老師の日本人田中老師が居られた）

当会のO副会長の軽妙な司会で、お土産交換、学生は日本語で我々は中国語で交互に自己紹介、学生からの学院紹介と歓迎の歌の披露と続く。私は”你们好！初次见面 我是从日本来的……”と自己紹介をした。



中国語を習ってまだ1年にならない私が、中国の女子大学生の前で中国語で自己紹介をするなんて”夢”にも思っていなかったことです。でも発音はまだまだです。最初の”你们好！”は”オー”と受けたがその後続く紹介では、学生の顔色に??が伺えたので、私は名前を黒板に書いて紹介しました。

自己紹介後は1対1で学生との会話。私の相手は”周甜甜”という湖北省当陽出身の3年生の学生さん。

彼女は日本語、私は中国語で会話をとったが私の中国語は無理です。結局日本語での会話に終始した。

話は彼女の夢、日本の分別で出すごみのこと、私が中国語を習うきっかけなど時間が経つのを忘れるほど内容の濃い会話が出来た。いくつか話をした私の中国語も彼女に発音を修正されながらも通じたようです。

交流会終了後、記念写真・学院内の案内をしてもらい、夕食は彼女達が知っている街のレストランに行く。

レストランでの交流会様子を書くと、この旅行記1ページ多くなってしまいそうなので、たった一言”交流会は楽しかった！”で終わりま

す。彼女達を寮まで送って行き”我今天非常高兴 再见！”で別れる。



旅行5日目 今日の観光は今回の旅行の最大の見所”永定土楼”観光です。土楼については、世界遺産シリーズとか中国神秘紀行といったテレビ番組で知識はあるものの、実物

を見た感動は素晴らしかった。土楼についても書き出すと長々となってしまうので残念ながら割愛します。土楼観光から戻って、中国旅行最後の夕食は廈門の街に全員で繰り出して取るようになった。

「快餐」「套餐」と窓ガラスに画かれた店に入る。日本でいう定食屋である。

自分で食べる物は自分で中国語で注文するよにとの李老師の指示。私は”来一瓶啤酒”とガラスケースに入った惣菜を指さして”这个”と言って4品選んで食べることが出来、又美味しい啤酒も飲めた。

いざと云う時は老師が助けてくれるという安心感はあるものの、中国語で注文して食事が出来たことに気持ちが高ぶるのを感じました。(外国語が話せるということは本当に世界が広がるのですね)



旅行6日目 今日は帰国日です。帰国便のアモイ発は14:15なのでたっぷり午前中の観光が出来るということで、アモイの目と鼻の先にある台湾領土の金門島クルーズに行く。金門



島は中国の国共内戦の激戦地である。岩肌に”三民主義統一中国”と書かれている文字をバックに記念写真。

この船上でも素敵な出会いがあった。蘇州在住という”赵英”という女性でカメラのシャッターを押してあげた縁で、我らが仲間のところにお誘いした。旅行仲間に”薄井さんが若い女性をナンパしてきた”と冷やかされたが、カメラ撮影を依頼された時、流暢な日本語を話す彼女がとても中国人とは思えなかった。船上で彼女が入れてくれるお茶を飲みながら「中国語を学ぶ会」の活動を紹介したり、彼女が目指す日本語検定1級の取得の話に花が咲いた。本当に中国の若い女性はパワーがあります。

クルーズ下船後、胡里山砲台の大きな大砲を見た。この大砲はドイツから購入した物で射程距離が16Kmもあり、この大砲1門の支払金額は約2.2トンの銀が用意されたと説明にある。

日本との抗日戦争でも活躍したようであるが、台湾海峡に向けた14mの砲身は威容である。

アモイ空港で今回お世話になったガイドの鐘さんの見送りを受けて14:15機中の人となりました。

今回の中国旅行は、「中国語を学ぶ会」に入会したこと、中国渡航歴

数十回という経験豊富な渡邊会長のコース立案、同行された李老師の中国語へのフォローなどがあり、ツアー旅行では味わったことのない旅行が出来た。中国語を習い始めたばかりの私が中国の女子学生の前で自己紹介したり、街の中の定食屋さんで中国語で注文してビールを飲んだり、麺を食べたこと、スーパーマーケットに入って中国の市民生活を感じたりと、数えあげればきりが無いほどいろんな事が体験出来た、大変楽しい旅であった。

これに中国語の会話力が備わっていたらと思うと、今習っている中国語をもっと力を入れて頑張ろうが、この旅行記の所感となります。

人の世に 興味を示す 春の旅

中島 好光

中国語を学ぶ会の旅行 (3/25)

中国語を学ぶ会の旅行に参加してアモイ 武夷山 泉州 の方へ行って来ました。



生活力の超強力な老師を含めて12人アモイ空港からは国内線で武夷山空港へ武夷山空港で飛行機を降りて行くとプロペラ機が駐機中かっこいいので写真を撮っていると兵士が寄ってきて写真機を出せ！

中身を消せと言ってるよ

うです。

困って一枚だけ消そうかなといじってみたがわからない。

全消去ならわかるんだが、せっかく撮った写真 困っていると老師が寄ってきて兵士と会話カメラをいじっていると音を消す表示あり

兵士に指差し クリック これでどうだと兵士は了解！
消の字だけみて了解したようです。

本当に頼りになる老師なのであります。

写真も全部無事でした！

夕食は土菜 きのこや山菜が特に美味しかった！

武夷山のマッサージは素晴らしい！

夜マッサージ店へ行きました。足の先から頭のとっぺんまで、、、気持ちよく目をつぶっていると隣から聞こえてくるのです。

「ニージースイ（あなた何歳？）」

「スーバースイ、、、、」

「??ウンウン 素晴らしい！」

老師が大笑いをしております。

どうやら隣のおじさん聞き間違えたようだ「スーバースイ（十八歳）」を「素晴らしい！」と 確かに十八歳は素晴らしい

おもわず隣を覗いてみました

確かに素晴らしかったですね～

マッサージも素晴らしかったで～す！



中国人大学生との交歓会

(2010.3.25～30) 蜂屋 和男

旅行日程4日目は中国学生達と交歓日だ。

午前中は、コロンス島、日光岩、南普陀院を見学し、午後廈門理工学院にバスで向かう。

学院に着くと、12名の学生(全員女学生)たちが拍手で出迎えてくれた。学生達と一緒に教室に入り小野寺氏の司会で交歓会が始まった。最初に渡辺会長より学院の先生(日本人)にお土産贈呈、次に学生、日本人の順番で自己紹介が行われた。私も行ったが中国語では満足に話せなかった。



学生たちは日本語、自分の名前は白板に書いて紹介していたが、ピンを書いてくださいとお願いした。ところがうまく書けない。皆大笑い。理由を聞くと小学校の時に習ったが

普段使わないので忘れたそう。中国人が忘れるのだから私たちが書けないのは当然だと思いながら聞いていた。自己紹介が終わると、3グループに分かれ1グループは(日本人3名中国人3名)交歓会が始まった。

目的は中国語を話すことだ。学生たちの日本語を学ぶ意欲に私達は中国語の会話は殆んど出来ず、日本語の先生になってしまった。

私たちのグループの一人陣佳 さんとの会話のことを書いてみよう。

今時の学生にしては携帯電話、パソコンも持っていないと言う。理由を聞くと両親は農家で貧乏なので買えないと言っていた。日常生活費はアルバイトを稼いでいるそうだ。

将来の夢は通訳になりたいと言っていた。会話中に日本語の敬語の使い方が難しいと次から次と話しかけてくる。隣にいる学生に喋らせない。

寮生活も聞いてみた。部屋は6人部屋で3段ベットが両側に有るだけで、テ

レビ、炊事場洗濯機も無く、洗濯は洗濯機を使うと有料なので手洗いそうだ。

夜は学生が行きたい市内のレストランでステーキを食べながら楽しく過ごした。

帰りはバスの中で学生たちの歌を聞きながら寮まで送りホテルに着いた。70歳にリーチの私が若い女子学生と一緒に会話ができ、大変楽しかった。日本ではこんなチャンスはないだろう。

明日は5日目永定土楼の見学。出発が少し早い楽しかった事を思い出しながら眠りに着く。

2010. 3. 31

会 員 の 手 記

běijīngyóujì
北京游记

星期三 額田 幸也

cóngliùyuèqīhàodàoshíyīhàowǒhéerzǐqùleběijīnglǚyóule
从六月七号到十一号我和儿子去了北京旅游了。

zhècìdemùdìshìshíèrniánmòjièbǐjīhuì
这次的目的是时隔十二年未见的朋友相会，借比机会，

tōngguòzìjǐde shuāngyǎnqīnkàn yīkàn běijīng shíèr nián de jù dà biàn huà hé fā zhǎn
通过自己的双眼亲眼看一看北京十二年的巨大变化和发展，

bìngqiěnéngbǎzìjǐdezhōngwénshu
并且能把自己的中文水平提高。

北京旅行記

6月7日から11日まで、私と息子は北京へ旅行した。今回の目的は12年間会っていない友人と会い、この機会を通じて北京12年間の巨大な変化と発展をこの目で見たいと思いました。合わせて自分の中国語を向上させたいと思いました。

dì yī tiān
第一天

péngyǒudài wǒmen qù le běijīng de zhōng xīn dì dān , wángfǔjǐng yǐ jí qián mén 。
朋友带我们去了北京的中心地段，西单，王府井以及前门。

zhōng wǔ fǎn zài qián mén de shāo mǎi , fēi cháng hǎo chī ,
中午饭在前门的烧麦老字号都一处吃的烧麦，非常好吃，

bìng qiě chī le hěn duō 。 xià wǔ lái dào le péng yǒu de cǎo cǎo , cǎo cǎo jiā chī wǎn fàn 。
并且吃了许多。下午来到了朋友的姥姥，姥姥家吃晚饭，

dì èr tiān de zǎo fàn shì zhōu 。
第二天的早饭是粥。

第 1 日

友達は私たちを北京の中心地西単・王府井・それに前門に連れて行って
くれた。昼食は前門で有名な焼売店おいしい焼売を食べました。おい
しくて満腹になりました。夕食は友達のおじいちゃん、おばあちゃんの
家で中国家菜をたくさん食べました。おばあちゃんの手作りの餃子や焼
売、万頭、鶏の唐揚げなど満腹になりました。私はその晩そこに泊まり
ました。おじいちゃん、おばあちゃんと中国語で夜遅くまで話しました。

次の朝はお粥を食べました。

dì èr tiān
第二天

zuò péng yǒu de chē zài běijīng de shì nèi hé jìn jiāo zhuǎn le zhuǎn ,
坐朋友的车在北京的市内和近郊转了转，

shǒu xiān lái dào le wǒ ér zǐ xiǎng qù de wèi yú běijīng dōng běi bù de 798 yì shù yuán qū , kāi chē yòng le
首先来到了我儿子想去的位于北京东北部的798艺术园区，开车用了

fēn zhōng 。 zài zhè lǐ wǒ hé ér zǐ fēn kāi hòu , hé péng yǒu lái dào le wèi yú běijīng x
30分钟。在这里我和儿子分开后，和朋友来到了位于北京西北

bù de běijīng dà xué , zài dà xué nèi sǎn bù , bìng mǎi le běijīng dà xué de jì shì běn , bǐ , bēi
部的北京大学，在大学内散步，并买了北京大学的记事本，笔，杯

zǐ děng zuò wéi jì niàn zhī hòu wǒ men yòu lái dào le wǒ céng jīng duǎn qī liú xué guò de běi
子等作为纪念。之后，我们又来到了，我曾经短期留学过的北

jīng yǔ yán xué yuàn , hěn huái niàn ā !
京语言学院，很怀念阿！

ràng wǒ xiǎng qǐ le zài 12 yuè hěn lěng de
让我想起了在12月很冷的

shí hòu zǎo shàng qǐ chuáng , hé dāng dì rén
时候，早上起床，和当地人

yì qǐ dǎ tài jí quán 。
一起打太极拳。

zui hòu wǒ men lái dào le běijīng ài lín pǐ kè
最后我们来到了北京奥林匹克

tǐ yù chǎng , cān guān le niǎo cháo , jìn jù lí
体育场，参观了鸟巢，近距离

dé kàn shàng qù fēi cháng zhuàng guān 。 zhōng wǔ
的看上去非常壮观。中午

wǒ men chī le běijīng de tè sè xiǎo chī zhá jiàng miàn , rì běn hǎo xiàng yě yǒu 。
我们吃了北京的特色小吃炸酱面，日本好像也有。



wǎn fàn zài rì běn liào lǐ diàn wǒ qǐng péng yǒu chī le shòu sī , tā men yě rèn wéi hěn hǎo chī 。
晚饭在日本料理店我请朋友吃了寿司，他们也认为很好吃。

第二日

友達の車で北京市内と郊外をドライブしました。先ず息子の希望で北
京の芸術村とも言うべき「北京798艺术园区」に行った。車で 30
分ぐらいで北京北東部です。そこで息子と別れて、我々は北京西部
の北京大学に行って、校内を散歩し、売店で北京大学ノート、ペン、
コーヒーカップなどを買った。次に、私が短期留学した北京言語学院
に行って、懐かしかった。12月の寒い時で、朝早く起きて地元の人
と太極拳を楽しんだことを思い出した。その後、オリンピック会場に
行って鳥の巣競技場を見た。巨大なスタジアムに驚いた。昼は北京名
物ジャージャー麺を食べた。日本にもあるかな。夕食は私たちが友達
を寿司屋に招待した。中国の友達もおいしそうに食べていた。

dì sān tiān
第三天

shàng wǔ wǒ de lìng yí ge péng yǒu dài wǒ cān wán le běijīng qù nián xīn kāi shǐ de guāng
上午我的另一个朋友带我参观了北京去年新开始的观 光

jǐng diǎn gōng wáng fǔ , gōng wáng fǔ shì qīng cháo de shí hòu guì zhū de zhù táng 。 bó yì céng jīng
景点恭王府，恭王府是清朝的时候贵族的住宅溥仪曾经

yě bèi rěn wǎn zài zhè lǐ , zhè lǐ méi bèi wén wǎng de gǎi xiǎng , hěn qīng xīng de bǎo liú le xià
也被软禁在这里，这里没被文革所影响，很庆幸的保留了下

lái 。 xià wǔ péng yǒu kāi chē dài wǒ qù le fǎ guó de dà xíng chāo shì mǎi lǐ wù , jí shǐ shì zài bái
来。下午朋友开车带我去去了法国的大型超市买礼物，即使是在白

tiān yě yǒu hěn duō rén zài gòu wù , shù le shù shōu yǐn tái , gòng yǒu 28 ge , zài zhè lǐ wǒ
天也有很多人 在购物，数了数收银台，共有28个，在这里我

mǎi le hěn duō běijīng de tè chǎn 。 péng yǒu hái sòng le zài běijīng qián mén yǒu míng de chá yǐ
买了很多北京的特产。朋友还送了在北京前门有名的茶叶

diàn chū shù 。 em ò lǐ huā chá hé wū lóng chá gěi wǒ , wǎn shàng péng yǒu qǐng wǒ hé ér zǐ zài běi
店出售的茉莉花茶和乌龙茶给我，晚上朋友请我和儿子在北

jīng yǒu míng de fàn guǎn chī de wǎn fàn 。
京有名的饭馆吃的晚饭。



míng tiān jiù yào hé běijīng shuō zài jiàn le , zhè cì de lǚ xíng guò de fēi cháng yú kuài , zhè dōu
明天就要和北京说再见了，这次的旅行过的非常愉快，这都

shì kǔ le běijīng de péng yǒu men 。 suī rán hěn jiǎn dān , yǐ shàng jiù shì zhè cì lǚ xíng de xiǎo
是亏了北京的朋友们。虽然很简单，以上就是这次旅行的小

jié 。 xiě le cuò wù , hěn duì bù qǐ 。
结。写了错误，很对不起。

第3日

私はもう一人の友達の案内で「恭王府」という観光名所に行った。ここは昨年初めて観光として一般に入場を許可された。清朝時代の貴族の宮殿で、溥儀も幽閉されていたところで、文革でも影響されなかった。午後は友達のお土産を買ってスーパーへ行った。フランス系の巨大な



スーパーで、昼間でも北京市民でいっぱい、レジ数が28もあったが、時間がかかった。北京特産の干しナツメ、フルタン、その他いっぱい買った。中国のお土産は北京のジャスミン茶、南部のウーロン茶はすでに前門の有名茶店で友達を買ってくれた。夕食は北京で有名な飲茶を食べた。友達が招待し

てくれた。明日は北京ともお別れだ。とても楽しく過ごすことができた。これも中国の朋友のお蔭とただ感謝です。簡単ですが今回の北京のほうこくです。間違ったところはお許してください。

会ホームページのコラムより

渡邊 敏行

中国の格言

学足三余

【ピンイン】xué zú sān yú

「学足三余」とは、「あらゆる余暇を利用して学ぶ」という意味です。

足 … 満たす

三余 … あらゆる余暇

『三国志』(魏志王肅伝)の中の言葉です。「三余」はこの場合、「夜間」「冬の日」「雨天」などの余暇を表しています。

忙しいサラリーマンにとってはこういうことが必要かもしれませんね。仕事をしながら中国語を学ぶのは大変ですが、中国語の試験の前や仕事の追い込みのときなどはこの言葉を思い出して頑張りましょう！

読書亡羊

【ピンイン】dú shū wáng yáng

「読書亡羊」とは「一つのことに気にとられて他のことがおろそかにな

ること」、または「他のことを忘れてしまうほど一つのことに専念する」という意味です。

読書 … 本を読む、勉強する

亡羊 … 羊を失う

昔ある牧畜民が羊を放牧していた時、本を読むのに夢中になって、大事な羊を全て失ってしまった、という話です。確かにわき目も振れず一つのことに取り組みれば、その過程や結果から多くのものを得ることができる。しかしそうするだけで周りの大切なものが見えなくなるようではだめですね。ですから、

不要読書亡羊！

時には、

読書亡羊！

好馬不吃回头草

【ピンイン】hǎo mǎ bù chī huí tóu cǎo

「好馬不吃回頭草」とは「よい馬は振り返って自分が歩いて踏んできた草を食べたりはしない」、つまり「過ぎ去ったことは振り返らない」という意味です。

回頭草 huí tóu cǎo … 自分が踏んできた草

あの時こうすればよかった、もしもああだったら…などと、いつまでも過去をことにこだわり前進することができない、そんなことはありませんか？過去を断ち切って前を向けるかどうかはあなた次第です！

好馬不吃回頭草！

不入虎穴焉得虎子

【ピンイン】bù rù hǔ xué yān de hǔ zǐ

「不入虎穴焉得虎子」とは、「危険を冒さなければ大きなことを成し遂げることはできない」、つまり、「虎穴に入らざるば虎児を得ず」、「急がば回れ」という意味です。

焉 yān … どうして～(疑問)

※ 焉得 yān de (どうして得ることができようか。いやできない。)

人生の駆け引きみたいな時が2度や3度ありますね。理屈をいくら並べても前には進めない。危険と分かっているけど進まなければならぬ時があ

る。そんな時にこの言葉を思い出そう。

不入虎穴焉得虎子！

笨鳥先飛

【ピンイン】bèn niǎo xiān fēi

「笨鳥先飛 bèn niǎo xiān fēi」は、「誰よりもまず先に、物事に真面目に一生懸命取り組み努力することで鈍才をカバーする」という意味です。

笨鳥 bèn niǎo・・・バカな鳥

先飛 xiān fēi・・・先に飛ぶ

直訳すると「バカな鳥は先に飛ぶ」となりますが、実際はそういう意味で使われることはほとんどありません。

自分の能力が劣っていても（笨鳥であっても）

誰よりもまず先に物事に取り組み（先飛）

一生懸命努力することで能力をカバーする。

という意味です。

自分はだめだなあ、自信がないなあ、そう思っている時はこの言葉を思い出して頑張ってみよう！

笨鳥先飛！

編集を終えて

今回は「研修旅行」で廈門理工学院の学生たちと交流会を持たたことは、会員の皆様ともども良い体験ができたと思う。彼女たちの進路を見守っていききたい気持ちでいっぱいだ。

一般のツアーでは味わう事の出来なかった、楽しい珍道中が皆さんの旅行記からも彷彿でき、おもわず“ニヤリ”としてしまうのは私だけではないだろう。

編集していて感じたことは、ピンイン入力で漢語を書くのは非常に集中力が必要で、まだまだレベルの低さを痛感させられた。 渡邊

1, 关于脱鞋子的习惯

qù péng you jiā zuò kè shí yí dìng shì bú huì tǔ zú jìn wū de nǐ tuō xià de xié zi
去朋友家做客时，一定是不会土足进屋的，你脱下的鞋子

yí dìng bùyào tuō xià bù guǎn yào bǎ xié bǎi fàng zhěng qí xié jiān duì wài
一定不要脱下不管，要把鞋摆放整齐，鞋尖对外。

2, 关于乘扶梯的习惯

chéng zuò fú tī shí guān xī hé guān dōng yǒu ràng kāi yí cè de xī guàn guān dōng
乘坐扶梯时，关西和关东有让开一侧的习惯，关东

kōng yòu biān guān xī kōng zuǒ biān
空右边，关西空左边。

3, 关于吃东西的习惯

wǒ chǎo hǎo cài lǎo gōng cóng chú fáng wǎng zhuō zǐ shàng fàng shí shùn shǒu ná qǐ
我炒好菜，老公从厨房往桌子上放时，顺手拿起

fàng zuǐ li biān zǒu biān chī ér zǐ hǎn
放嘴里，边走边吃，儿子喊：“パパ、お行儀わるい、

bù bù méi jiā jiào biān zǒu biān chī dōng
歩きながら食べている！（爸爸没家教，边走边吃东

xī zhè zài zhōng guó shì hěn píng cháng de shì chú le zài héng bīn zhōng huá jiē jī
西）这在中国是很平常的事。除了在横滨中华街，几

hū kàn bú dào rì běn rén biān zǒu biān chī dōng xī zài biàn lì diàn hé yǐn liào fān mài
乎看不到日本人边走边吃东西。在便利店和饮料贩卖

jī qián dà jiā bú shì zhàn zài fù jìn hē wán jiù shì zhǎo gè dì fāng hē wán jiù
机前，大家不是站在附近喝完，就是找个地方喝完，就

shì bú huì biān zǒu biān hē zěn me yàng qí guài ba
是不会边走边喝。怎么样？奇怪吧！